

私たちの町議会



2023.12.12 | No. 256

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



議会だよりの表紙は、無限の可能性をイメージし子どもを掲載しています。

令和5年度第2回議会モニター会議を開催



14名のモニターと議員が「新たな新嵐山 スカイパークについて」を話し合う

11月29日(水)、高校生を含む14名の議会モニターとの参加のもと、令和5年度第2回議会モニター会議を開催しました。

8月に開催した第1回では「日々の暮らしで気になること」について意見交換が行われ、その後、いただいた意見をもとに議員間で協議した結果等について、議会運営委員会から報告を行いました。

また、「新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会」による調査経過について、10月に実施した議会報告会の総括等、今後の議会活動の方向性について説明したのち、オンライン参加でのグループも含めて4グループに分かれ「新たな新嵐山スカイパークについて」をテーマに意見交換を行いました。

グループワークでは議員が話し合いの進行を務め、これからの芽室町に必要な新嵐山スカイパークのあり方について、「町民の憩いの場」か「観光の振興」なのか等、存在目的としての「総論」から議論を始め、それを実現するために必要な資源は何かという「各論」について議論しました。

様々な意見やアイデア等が共有された中、どのグループにも共通していたことは「新嵐山スカイパークはこれからも残していきたい町の財産」ということでした。

議論の中では、ご自身が子どもだった頃の思い出や、展望台からの眺望、ハイキング、野草観察、子どものスキースクールの思い出や、キャンプ場やドッグラン等最近整備された施設を楽しんでいたことなど、自由闊達な話し合いがされ、多くの想いや意見を伺うことができました。

今後の活用に向けては、めむろスキー場は十勝管内の住民にとっても必要な施設である、残すためには既存施設機能の規模縮小も検討すべき、ボランティアでお手伝いできることがあればぜひ参加したい等、再開に向けて前向きな意見をたくさんいただきました。

これらいただいた意見をもとに議会では、12月1日開催の特別委員会の中で「今年度の新嵐山の施設利用(令和6年1月～3月の利用方法と所要予算)について、議会の考え方を確定させることを目的として議員間で議論を行いました。結果としてさまざまな意見があり、さらに今後に向けて、議会モニターのみならずからいただいた意見をもとに調査を行っていくことを確認しました。

芽室町議会ではこれまで「住民参加」に注力し議会改革に取り組み、全国的にも高く評価されてきましたが、その背景には議会モニターのみなさんの存在が大きく影響しています。

モニター会議に参加し、意見を出し、それを議会が町の政策に反映することで、モニターのみなさんには「まちづくりへの参加のやりがい」を実感していただけるよう、今後も真摯に取り組んでまいります。

新嵐山スカイパーク

経営改革調査特別委員会

11/7
第7回特別委員会

今シーズンのスキー場は営業困難 新たなあり方は令和6年2月確定を目指す

第7回特別委員会では、「令和5年度及び令和6年度の運営」と「経営方針変更の手順とスケジュール」を中心に調査を進めました。早期再開を望む声が多いスキー場について、町からは「今年度中の再開は大変難しく、令和6年12月の運営再開を目指す」方針が示されました。議会では、そり遊びや歩くスキーなどスキー場以外の活用についても質疑をしましたが、町からは「関係団体との意見交換において協議したい」との答弁があり、その後の自由討議において委員からは「今後確定したものを調査すべき」との意見が出されました。また、町からは、令和6年2月に新嵐山スカイパークの今後のあり方を確定させ、令和7年4月事業再開のスケジュール案が示されましたが、議会では、「町として、まずは第三セクターが経営破綻に至ったことの総括が必要」と指摘しました。

12/1
第8回特別委員会

今シーズンの新嵐山活用 約1時間にわたる集中した議員問討議

第8回特別委員会では、11月29日に開催した第2回議会モニター会議の内容を踏まえ、議員問討議を行いました。グループ討議では、「令和5年度の運営について」3つのグループに分かれて約1時間討議を行い、その後のグループ発表では、「予算をかけず、スキー場をスノーフィールドとして開放する」、「週末だけの開放やイベント企画等活用する」等の意見が出された一方、「安全確保の面から一定の監視機能は必要であり、リスクを懸念する」との意見がありました。今後は各グループから出された意見を踏まえ、次回の特別委員会(12月7日開催)に向けて、令和5年度の運営について整理することとしました。

12/7
第9回特別委員会

今シーズンのスキー場運営 運営可否を調査(第7回に引き続き)

第9回特別委員会では、「令和5年度の運営について」、「令和6年度の運営について」、「今後のスケジュールについて」を調査します。

※議会だより12月号は12月5日
が校了のため、以下の記事は
予定を記載していません。

第9回 特別委員会の 主な調査事項

- 1 今シーズンのスキー場運営の可否について
- 2 令和6年度の運営について
- 3 今後のスケジュールについて

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

11月
臨時会議

原案のとおり可決

11月27日に開催した臨時会議は、条例改正2件、意見書案1件、陳情1件を原案のとおり可決して閉会しました。

12月
定例会議

原案のとおり可決

12月定例会議は1日に開会しました。初日(1日)においては、名誉町民推挙や条例改正を審議し、議件は全て原案のとおり可決しました。

12月
補正予算

新嵐山スカイパークの維持 管理費(380万5千円)を 含む補正予算案を可決

審議した議案と各議員の賛否

11月定例会議

※梶澤議長は表決には加わりません。

種類	議員名	議案名	議決日
陳情	菊池 秀明	「軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書」の提出を求める陳情	11/27
議案	伊藤 稔	職員給与に関する条例中一部改正の件	原案可決
議案	小笠原 等	芽室町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中一部改正の件	原案可決
議案	中田智恵子	軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書提出の件	原案可決
陳情	梶澤 幸治	今シーズンのメムロスキー場の営業に関する陳情	総務経済常任委員会に審査付託

主な内容

●行政報告

町長から、めむろ新嵐山株式会社社の破産手続に至るこれまでの経過報告及びそれに伴う特別職の給与減額の今定例会中の提案予定について、報告がありました。

●名誉町民推挙

北海道議会議員を6期務めた大谷亨氏を名誉町民に推挙すること原案のとおり可決しました。

●一般会計補正予算(歳出)

項目	金額	主な使いみち
議会費	△321万2千円	議員報酬手当支給事務
総務費	2億2,285万9千円	寄附金管理基金積立金
民生費	6,471万6千円	障害者自立支援給付事業
衛生費	2,542万2千円	子ども医療費給付事業
農林産業費	7,685万6千円	畑作構造転換事業
商工費	374万8千円	新嵐山スカイパーク運営支援事業
土木費	588万9千円	公有財産購入費
消防費	△22万円	消防団員健康診断委託料
教育費	559万2千円	大学等奨学金貸付金
職員費	5,960万1千円	職員給与支払事務
予備費	231万8千円	
災害復旧費	△7万7千円	農道補修砂利敷等工事
合計	4億6,349万2千円	

意見書を提出しました

■軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

索道事業では、スキー場のゲレンデ整備に使用する圧雪車の燃料、除雪機の動力源として使用する軽油について免税となっており、この制度がなくなれば、スキー人口の減少等から現在でさえ大変厳しい経営環境をさらに圧迫し、スキー場の経営は一層厳しいものとなり、北海道の観光及び経済にも大きな打撃を与えることが危惧される。

当町内のスキー場においても、安全・安心かつ快適なゲレンデを提供するため雪面整備に圧雪車等を使用しており、スキー場の経営維持に軽油引取税の免税措置は不可欠なものとなっている。

よって、国においては、索道事業者、農林水産事業者、鉱物採掘事業者など幅広い産業への経営が圧迫され、地域経済を与えている産業の衰退を招くことのないよう、軽油引取税の課税免除措置を継続するよう強く要望する。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣

意見書の全文は
こちらから



町政のそこが聞きたい 一般質問

12月13日(水) 9:30~

木村 淳彦 議員	1 物価高騰における町内消費喚起及び地域内経済循環
渡辺洋一郎 議員	1 認知症施策
伊藤 稔 議員	1 芽室町の観光情報
正村紀美子 議員	1 水道事業の広域化 2 生きる力を育む「幼保小連携の充実」

12月14日(木) 9:30~

堀切 忠 議員	1 誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の実現に向けて
立川 美穂 議員	1 地域公共交通事業の今後の展開
菊池 秀明 議員	1 農業経営基盤支援と担い手の育成・確保対策に係る今後の展望
早苗 豊 議員	1 芽室町農業振興計画の進捗状況

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。
年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。

図書館と議会が連携 一般質問に関連する図書を展示



議会の一般質問に関連する図書資料を、図書館の特設コーナーで展示します。ぜひ、図書館へ足を運んでみませんか???

議員研修会 11月23日

11月23日(木)、芽室町議会サポーター土山希美枝氏(法政大学教授)を講師に「芽室町の政策・制度を良くするための質問力向上」について議員研修会を行いました。

第一部では各議員が行う一般質問を議員一人のものだけに終わらせず、議会の政策資源として、一般質問を議会機能の一手段として活かしていくことの意義を学びました。



3人から日ごる課題と考える政策テーマが提供され、ゼミ形式で個々の政策テーマをより良い質問にしているための意見交換を行い、論点のブラッシュアップを行いました。一般質問は住民から負託を受けた議員が「我が町の政策・制度をヒロバ(議会)での議論によってよい状態にすること」との土山サポーターからの学びを活かすべく、12月定例会議には8人が登壇します。

総務経済常任委員会

第11回 11月15日(水)

調査内容
 ●合同納骨塚整備について
 令和7年度に芽室霊園で合同納骨塚の整備に着手し、令和8年4月の利用開始を目指すとの説明を受けました。
 ●芽室町除雪計画(令和5年度)について
 問口除雪の対象者の拡大について検討するなど、令和4年度除排雪計画との主な変更点について説明がありました。
 ●職員の給与改定について
 本年8月の人事院勧告に基づき月例給、期末勤勉手当に対する条例改正の説明を受けました。
 ●地域公共交通確保対策事業におけるEBPMの活用について
 じゃがバスの利便性向上のため、総務省主催の「統計データ」を活用した地域課題解決研究会での成果を取りまとめ、発表すると説明を受けました。
 ●すまいるボードの廃止について
 平成16年5月に町の情報公開の手段の一つとして制度がスタートしましたが、急速なデジタル化により情報発信手段が大幅に変化したこと



地域公共交通確保対策事業におけるEBPMの活用(じゃがバス)

とから、廃止の検討をするところ、説明を受けました。
 ●広報誌配布手法の検討について
 近年、町内会の未加入世帯の増加に伴い、配布委託料の増加が懸念されることから、各町内会や市街地町内会連合会など関係団体とも協議を続け、引き続き配布手法の検討を進めると説明を受けました。
 ●芽室町ふるさと応援寄附条例の一部改正について
 ふるさと応援寄附金の大幅な増加に伴い、返礼品の経費も増大している。返礼品に関する経費の増加により、寄付金を収受した年度の財源を圧迫、また企業版ふるさと納税に関する事務作業に労力がかかるため、条例の一部改正することにより、財源の圧迫の解消、積立事務の簡素化を図ると説明を受けました。

厚生文教常任委員会

第12回11月10日(金)

調査内容
 ●芽室町奨学金貸付選考基準の改正について
 近年の不認定状況や管内動向から学びの継続を支援するため、令和6年度から選考基準を廃止する。令和6年度入学生に係る年度前貸付(令和5年度予算)についても適用するとの説明を受けました。不認定者の再申請についての質疑には、遡及措置は行わないが、令和6年度入学生から適用との答弁がありました。
 ●公立芽室病院の経営状況(令和5年度上半期決算状況)について
 上半期決算及び診療科別前年対比についての説明を受けました。在宅医療の取組みに係る今年度上半期の実績についての質疑がありました。訪問看護の利用率は伸びており、管内的に院内に訪問ステーションを設置しているところは少ない。今後在宅医療の充実のため、町との協議を重ね、安定経営を目指していくとの



ボッチャ体験会

答弁がありました。
 ●国民健康保険法の一部改正に伴う対応について
 国民健康保険法の一部改正に伴い、出産する被保険者に係る産前産後期間相当分(4か月間)の保険税(均等割額・所得割額)を免除する措置についての説明がありました。
 ●11月29日、めむろニュースポーツ協会との意見交換会及びボッチャ体験会を開催しました。
 当日は、議場、議員控えコーナーにおいて、町民約30名の参加の中、「健康づくり」をテーマに楽しい時間を過ごしました。

合同委員会

第4回 11月27日(月)

調査内容
 ●めむろ新嵐山株式会社の経営破綻について
 調査では、「経営状況の認識及び指定管理者への指摘・共有事項について」関係課から説明を受けました。
 令和4年度及び令和5年度の指定管理料については、委託料の総額の変更ではないことから、協議書に基づき、支払月を4月、10月から4月、5月に変更して対応したとの説明を受け、委員からの「令和4年度の支払月変更の議会への報告はあったのか」という質疑に対し「議会には説明していない」との答弁がありました。
 町は、令和2年度及び令和3年度に借入した段階で、会社の経営状況は非常に厳しいと認識していたが、コロナ禍が落ち着けば付加価値が上がり、売上も上がると見込んでいたところ、売上が予定より伸びなく、コストカットのタイミングも遅く見込みが甘かったとの見解を改めて示しました。

次のページは「議会白書」12月定例会議のご案内「表紙の写真」

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名		日時	休憩時間	実質時間	議件	傍聴人数	ネット中継アクセス数
		会議時間					
本会議	11月臨時会議	11月27日 9:30~9:46	0:00	0:16	1. 「軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書」の提出を求める陳情 2. 職員の給与に関する条例中一部改正の件 他	1	(139)
常任委員会	総務経済	第11回 11月15日 9:30~11:30	0:16	1:44	1. 合同納骨塚(整備)について 2. 芽室町除雪計画(令和5年度)について 他	1	50
		第12回 11月27日 9:50~9:52	0:00	0:02	1. 今シーズンのメムロススキー場の営業に関する陳情について	0	(139)
	厚生文教	第12回 11月10日 9:30~10:40	0:06	0:58	1. 芽室町奨学金貸付選考基準の改正について 2. 公立芽室病院の経営状況(令和5年度上半期決算状況)について 他	3	27
総務経済・厚生文教常任委員会合同委員会		第4回 11月27日 10:00~11:51	0:13	1:38	1. めむろ新嵐山株式会社の経営破綻について	1	(139)
議会運営委員会	第16回 11月2日 9:30~10:05	0:05	0:30	1. 議会だより11月号の編集について 2. 議会だより12月号の編集企画について 他	1	6	
	第17回 11月17日 13:30~14:21	0:24	0:27	1. 令和5年芽室町議会定例会11月臨時会議の運営について 2. 第2回モニター会議実施要領案について	1	23	
	第18回 11月21日 13:30~13:41	0:01	0:10	1. 令和5年芽室町議会定例会12月臨時会議の運営について	1	10	
新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会		第7回 11月7日 9:30~11:39	0:16	1:53	1. 新嵐山スカイパークの今後について	3	65
編集企画会議		第8回 11月27日 11:55~12:10	0:00	0:15	1. 議会だより12月号の校正について 2. 議会だより1月号の編集企画について		※
小計		9:14	1:21	7:53		計12	平均66.4
十勝町村議会議員研修会		11月13日 13:30~15:30	0:00	2:00	・北海道十勝総合振興局地域政策課長 範囲修史氏「地域おこし協力隊の確保・定着に向けた道の取り組みについて」 ・法政大学法学部教授 土山希美枝氏「質問力を高めるために」~芽室町の政策・制度を良くする「質問」にするには~		※
芽室町議会議員研修会		11月23日 10:00~15:00	1:00	4:00	「スポーツを通じた町民の健康づくりについて」(ポッチャ体験会)		※
ニュースポーツ協会と厚生文教常任委員会との意見交換会		11月29日 9:30~11:30	0:00	2:00	「スポーツを通じた町民の健康づくりについて」(ポッチャ体験会)		※
第2回議会モニター会議		11月29日 18:30~20:00	0:00	1:30	テーマ「新たな新嵐山スカイパークについて」		※
小計		10:30	1:00	9:30		計12	平均66.4
合計		19:44	2:21	17:23		計12	平均66.4

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※インターネット中継を実施しなかった会議



表紙写真
親子登園日の様子です。芽室幼稚園では子ども達の「やりたい!」をかなえることを目標にしています。この日は保護者が子ども達の「やりたい!」の為に力を貸してくれました。お兄ちゃん・お姉ちゃんも力を貸してくれる姿があり、終始笑顔のあふれる一日となりました。

12月定例会議のご案内

13日	9:30~	一般質問
14日	9:30~	一般質問
20日	9:30~	最終日

議会傍聴で芽室の未来が見える!

インターネット中継はコチラから視聴できます。(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

後編記集

■保育園、幼稚園の発表会に招かれ、素晴らしい演技と可愛らしい姿に、癒しの時間を過ごすことが出来ました。今号から厚生文教委員が編集担当となります。わかりやすい議会だよりを目指して取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

■さて、この議会だよりの発行日には白銀の世界が広がっているのでしょうか?今年も一年の締めくくりの季節になりました。今年、「芽室ジモト大学」や「めむろ未来学」を起点として若い世代の方々が地域の方達と交流する様子が多くみられました。平成29年開催の「未来フォーラムII」のテーマは「地域が学びの場となるために」でした。今まさにそれが始まっています。

■先日、芽室町青少年健全育成町民集會に参加しました。小中高生の皆さんの素晴らしい意見発表がありました。中でも印象に残ったのは、プラスチックごみに関わった意見発表でした。とても小学生とは思えない調査能力、しっかりと自分の意見を発表され、ただただ感心して聞き入りました。

堀切 忠

早苗 豊

中田智恵子

めむろ議会だより
令和5年12月12日発行
No. 256

発行 北海道芽室町議会
編集 議会運営委員会
発行開始年月日 昭和56年7月

〒082-8651 北海道河西郡芽室町東2条2丁目14
TEL 0155-62-9731 FAX 0155-62-9813
メール g-shomu@memuro.net
ホームページ http://mgikai.memuro.net/gikai.htm

LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014

芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト
▶ スマートフォンサイトを見る

公式 X (旧 Twitter) アカウント
@memuro_gikai

公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時更新中